

山都町立矢部小学校 学校だより



矢部小HP

令和7年2月3日（月）

第41号

2次元コード”

カラー閲覧できます

校長 池部 聖吾智 (みわとも)

☆☆

97' 浜町小6年卒業制作・版画紙芝居「通潤橋にかけた橋」が親から子へ

当時の6年担任・（現在、町立小学校長）くんは、私の小・中・高校の同級生です。今年で役職定年を迎える機会に標記作品を卒業生の母校・矢部小に残そうということになり、今回贈呈式の機会を設定しました。

式の冒頭では、くんからこの作品についての説明があり、ひき続いて当時の制作者（卒業生）代表4名から、作品への思いを次のように語られました。「通潤橋の歴史を知ってほしい」「当時の布田さんのことがわかりやすくなっている。これで勉強してほしい」「通潤橋は社会で勉強するが、みんなは自分たちの所にあるのはすごいこと。大人になって感動した」「通潤橋の良さは大人になってわかる」



最後は、譲り受けた版画を式にも参加した児童が持ち、卒業生・担任の贈呈式に記念写真は掲載され、0名が持った。なお、今回の「山都」3月号に、本日は新聞や広報「山都」3月号に掲載される予定で、

ふと自身の中学校時代を思い出しました。3年生の時だったと記憶しますが、昼休みに空き教室にて同級生数人で教師のマネごとをしていた事がありました。具体的には教師用の大コンパスを持ち出して黒板に円をかいたり、問題を出し合ったりとしていたのです。このことは彼も覚えていたようです。教師のマネごとをしていた2人が実際に教師となり、さらに60歳という節目の年にそれぞれが関わっている(た)子どもどうしが親と子という形で、「国宝・通潤橋」がつないでくれたのです。

この日の夕方、くんから以下のメールが届きました。「いろいろとありがとうございました。子どもたちの成長に感謝感激です。自分たちが小学生時代に作った版画紙芝居が、27年の時を経てその子供たちの学習に役立つなんて、なんとステキなことかと本当に思います。感動的な瞬間に立ち会えたことをうれしく思います。幸せな瞬間でした。ありがとうございました」



今回の贈呈式は、本校の歴史に残る記念日となりました！

矢部抄

上の記事の続きから。く
 んは来校すると の偉人
 ・ のラベルのつ
 いた酒を土産にくれた。早
 速帰宅して呑む。「ウマイ！」お
 礼のメールを送った後に来たメ
 ールが上の記事に掲載したもの
 である▼車検の時期になった。
 先日の土曜日、購入店に依頼し
 た。しかし、「引き渡しは速くて
 火曜日、部品調達次第ではそれ
 以降も」という回答だった▼今
 乗ってる代車はノーマルタイヤ
 である。予報では「火く金まで
 大雪警報の可能性」という。太
 きな行事も目白押しの今週であ
 る。天候の状況が大変気になっ
 ている▼この日の夜はテレビで
 「カギダンスバトル」を観た。
 お笑い芸人たちがプロデュース
 し、高校生と一緒に考案・練習
 したダンスを披露するものでは
 ある▼こういうイベントは個人的
 に大好きである。実は、これも
 構想の中にあっただが踏み切
 れなかったことを後悔している。